



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月9日

上場会社名 サイボー株式会社

上場取引所 東

コード番号 3123 URL <https://www.saibo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 榮一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部財務部長 (氏名) 白田 浩二

TEL 048-267-5151

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,744	18.3	242	—	254	—	117	—
2022年3月期第1四半期	2,319	35.7	△108	—	△87	—	△100	—

(注)包括利益 2023年3月期第1四半期 72百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 △100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	8.92	—
2022年3月期第1四半期	△7.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	42,249	—	17,462	—	—	36.2
2022年3月期	42,895	—	17,484	—	—	35.7

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 15,284百万円 2022年3月期 15,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,703	5.3	529	171.8	523	144.4	292	199.5	22.10
通期	9,278	3.6	965	49.5	921	24.3	532	6.5	40.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	13,600,000 株	2022年3月期	13,600,000 株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	386,042 株	2022年3月期	388,042 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	13,212,112 株	2022年3月期1Q	13,211,993 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(会計方針の変更等)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きがあったものの、エネルギー価格や原材料コストの上昇、中国ロックダウンによる供給制約、円安の進行等により、景況感は総じて悪化傾向にあり、先行きの景気動向もいっそう不透明な状況となっております。

当社グループにおける事業環境は、繊維事業では、製品等海外からの仕入れにおいて、円安、原材料高、中国ロックダウンの影響を受けた一方、キャンプ関連商品の需要が拡大するなど、取扱品により差が出た事業活動となりました。

不動産活用事業は、大型商業施設「イオンモール川口」を前期にイオンモール(株)に賃貸開始したことから、当期においては通期にわたって業績への寄与が見込まれます。また、既存の賃貸物件である「イオンモール川口前川」や病院施設等からの安定した賃貸収入を維持しており、営業収益の安定化が図られております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,744百万円(前年同期比18.3%増)となりました。営業利益は242百万円(前年同期は108百万円の営業損失)となり、経常利益は254百万円(前年同期は87百万円の経常損失)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は117百万円(前年同期は100百万円の同純損失)となりました。

事業別セグメントの概況は次のとおりであります。なお、事業別セグメントの売上高及び営業利益又は損失は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。

① 繊維事業

マテリアル部は、衣料向け生地販売事業を縮小したものの、原糸販売は仕入れのコストアップ分を一部販売価格への転嫁を進めたこと等から、増収となりました。

アパレル部は、コロナ禍による中国のロックダウンにより商品仕入が滞り、また期中急速に円安が進んだこともあり、減収減益となりました。

アウトドア部は、コロナ禍において三密を避けたレジャーとしてキャンプ関連商品の需要は引き続き高く、また取引先の直営店舗が増えたこと等により、増収増益となりました。

刺繍レースを扱うフロリア(株)は、既存取引先への販売を伸ばし増収となりました。

この結果、繊維事業の売上高は1,494百万円(前年同期比15.7%増)となり、営業利益は50百万円(前年同期比24.2%減)となりました。

② 不動産活用事業

不動産活用事業は、「イオンモール川口前川」が近隣の大型商業施設に比べ回遊型ショッピングができるという、お客様の利便性と近隣住民の生活環境にあった専門店選びが評価されております。また「イオンモール川口」は、新しい社会環境に合わせた最新型の商業施設として2021年5月よりイオンモール(株)に賃貸を開始し、当期初より売上に寄与したことから、増収に繋がりました。

一方で「イオンモール川口前川」は前年からのリニューアル工事が計画通りに完了し費用を計上しておりますが、「イオンモール川口」における不動産取得税等一時的な費用が前期に比べ大幅に減少したため、増益となりました。

この結果、不動産活用事業の売上高は927百万円(前年同期比28.5%増)、営業利益は133百万円(前年同期は255百万円の営業損失)となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業(株)が営む川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ練習場は、SNSでの情報発信やキャッシュレス化の導入等、利便性を高めることにより新規来場者やリピーターの増強を図るとともに、コロナウイルス対策に万全を期した営業を続けております。しかしながら、当四半期では新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きをみせ行動制限が緩和されたことから、お客様のレジャーにおける選択の自由度が増し、練習場への来場者が減少したため減収減益となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は261百万円(前年同期比5.8%減)、営業利益は41百万円(前年同期比41.8%減)となりました。

④ その他の事業

神根サイボー(株)のインテリア施工事業は、一般住宅施工の減少はあるものの、大口物件の受注があり増収となりましたが、資材の高騰により減益となりました。

この結果、その他の事業の売上高は212百万円(前年同期比4.1%増)、営業利益は18百万円(前年同期比7.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ646百万円減少して42,249百万円となりました。これは主に現金及び預金や受取手形、売掛金及び契約資産が増加したものの、流動資産のその他に含まれる未収消費税等の還付や有形固定資産の減価償却が進んだこと等による減少であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ624百万円減少して24,786百万円となりました。これは主に短期借入金や長期借入金が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ21百万円減少して17,462百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、配当金の支払やその他有価証券評価差額金が減少したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ517百万円増加して2,943百万円となりました。

営業活動の結果、得られた資金は前第1四半期連結累計期間に比べ1,208百万円増加して1,390百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の増加や未払又は未収消費税等の増減額が消費税等の還付により増加したこと等によるものであります。

投資活動の結果、支出した資金は前第1四半期連結累計期間に比べ2,631百万円減少して29百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が減少したこと等によるものであります。

財務活動の結果、支出した資金は844百万円(前第1四半期連結累計期間は得られた資金が2,932百万円)となりました。これは主に短期借入れによる収入や長期借入れによる収入が減少したこと、短期借入金の返済による支出が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月16日の決算短信で発表いたしました、連結業績予想から変更は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,586,237	3,097,144
受取手形、売掛金及び契約資産	1,017,450	1,449,588
有価証券	-	10,206
商品及び製品	1,005,705	1,224,161
仕掛品	6,795	6,694
原材料及び貯蔵品	32,342	37,941
その他	1,489,568	172,603
貸倒引当金	△4,870	△2,164
流動資産合計	6,133,228	5,996,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,885,429	22,669,159
土地	7,822,588	7,822,588
その他（純額）	349,646	293,672
有形固定資産合計	31,057,664	30,785,420
無形固定資産	10,236	8,590
投資その他の資産		
投資有価証券	5,170,536	4,927,943
その他	577,287	582,450
貸倒引当金	△53,199	△51,022
投資その他の資産合計	5,694,624	5,459,372
固定資産合計	36,762,525	36,253,382
資産合計	42,895,753	42,249,558

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	662,189	855,029
短期借入金	880,000	410,000
1年内返済予定の長期借入金	1,101,740	1,093,340
未払法人税等	132,527	29,043
賞与引当金	49,182	24,008
役員賞与引当金	7,030	1,757
その他	1,004,725	1,098,326
流動負債合計	3,837,394	3,511,504
固定負債		
長期借入金	14,770,867	14,503,632
役員退職慰労引当金	253,889	255,941
退職給付に係る負債	166,715	170,410
長期預り保証金	5,579,948	5,581,159
資産除去債務	621,646	622,998
その他	180,994	140,956
固定負債合計	21,574,062	21,275,097
負債合計	25,411,456	24,786,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	825,348	825,373
利益剰余金	12,504,327	12,530,689
自己株式	△245,433	△244,503
株主資本合計	14,486,242	14,513,558
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	870,391	749,115
繰延ヘッジ損益	△23,187	30,323
退職給付に係る調整累計額	△8,978	△8,777
その他の包括利益累計額合計	838,225	770,660
新株予約権	5,143	4,401
非支配株主持分	2,154,685	2,174,335
純資産合計	17,484,296	17,462,956
負債純資産合計	42,895,753	42,249,558

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	2,319,759	2,744,379
売上原価	2,114,324	2,185,154
売上総利益	205,435	559,225
販売費及び一般管理費	313,682	317,224
営業利益又は営業損失(△)	△108,247	242,000
営業外収益		
受取利息	336	322
受取配当金	65,791	53,187
その他	8,373	28,485
営業外収益合計	74,501	81,996
営業外費用		
支払利息	27,872	26,588
持分法による投資損失	21,512	25,966
その他	4,316	16,662
営業外費用合計	53,701	69,217
経常利益又は経常損失(△)	△87,447	254,779
特別利益		
新株予約権戻入益	720	899
特別利益合計	720	899
特別損失		
投資有価証券評価損	-	22,857
特別損失合計	-	22,857
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△86,727	232,820
法人税、住民税及び事業税	33,192	32,979
法人税等調整額	△48,526	58,741
法人税等合計	△15,333	91,721
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△71,393	141,099
非支配株主に帰属する四半期純利益	28,668	23,214
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△100,062	117,885

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△71,393	141,099
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,836	△116,775
繰延ヘッジ損益	△50,567	53,510
持分法適用会社に対する持分相当額	11,991	△5,132
その他の包括利益合計	△28,739	△68,397
四半期包括利益	△100,133	72,702
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△127,264	50,320
非支配株主に係る四半期包括利益	27,131	22,381

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△86,727	232,820
減価償却費	282,412	328,163
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△473	△4,883
賞与引当金の増減額(△は減少)	△26,127	△25,174
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,762	△5,273
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,835	3,694
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	963	2,052
受取利息及び受取配当金	△66,128	△53,510
支払利息	27,872	26,588
持分法による投資損益(△は益)	21,512	25,966
投資有価証券評価損益(△は益)	-	22,857
売上債権の増減額(△は増加)	△283,292	△432,138
棚卸資産の増減額(△は増加)	△76,905	△223,953
仕入債務の増減額(△は減少)	338,936	192,840
未払又は未収消費税等の増減額	△408,305	1,354,512
その他	532,274	44,059
小計	249,415	1,488,621
利息及び配当金の受取額	68,855	53,738
利息の支払額	△27,872	△26,588
法人税等の支払額	△108,142	△124,935
営業活動によるキャッシュ・フロー	182,256	1,390,835
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,684,670	△52,023
投資有価証券の取得による支出	△30,600	△29,912
投資有価証券の売却による収入	30,164	43,662
定期預金の増減額(△は増加)	22,949	6,149
貸付金の回収による収入	1,350	1,950
その他	609	1,067
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,660,196	△29,107
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,090,000	90,000
短期借入金の返済による支出	△90,000	△560,000
長期借入れによる収入	2,300,000	-
長期借入金の返済による支出	△267,479	△275,635
配当金の支払額	△91,522	△91,522
非支配株主への配当金の支払額	△2,732	△2,732
ストックオプションの行使による収入	-	874
その他	△5,636	△5,656
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,932,628	△844,672
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	454,688	517,056
現金及び現金同等物の期首残高	1,620,990	2,426,675
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,075,678	2,943,732

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立したサイボークリエイト㈱を連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更等)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響及び固定資産(大型商業施設)の耐用年数に関する会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定及び固定資産(大型商業施設)の耐用年数を見積る際に利用した仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	不動産活用 事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	1,288,688	654,397	277,142	2,220,229	99,530	2,319,759	—	2,319,759
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,100	67,581	—	69,681	104,598	174,279	△174,279	—
計	1,290,788	721,979	277,142	2,289,911	204,128	2,494,039	△174,279	2,319,759
セグメント利益 又は損失(△)	67,067	△255,187	71,461	△116,659	19,810	△96,848	△11,398	△108,247

- (注) 1 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インテリア施工事業を含んでおり
ます。
2 調整額は、セグメント間取引消去であります。
3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	不動産活用 事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	1,491,950	857,345	261,037	2,610,332	134,046	2,744,379	—	2,744,379
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,100	70,361	—	72,461	78,528	150,990	△150,990	—
計	1,494,050	927,706	261,037	2,682,794	212,575	2,895,370	△150,990	2,744,379
セグメント利益	50,850	133,533	41,567	225,951	18,283	244,234	△2,234	242,000

- (注) 1 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インテリア施工事業を含んでおり
ます。
2 調整額は、セグメント間取引消去であります。
3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。